

地域



出身中学校対抗で「校歌」を合戦を行
い、中学校時代の恩師が審査員を務め
るのが恒例となっている。式典後は市
内の製麺業者や飲食店をつくる「麺の
まち」の里館林振興会が名物の
うどんを振る舞った。写真
委員を務めた伊藤尚輝さん(20)は
「受賞できてうれしい。来年はさらに
面白い企画で大賞を狙ってほしい」と
後輩に期待を寄せた。

成人式の改革を促し、青少年の健全
育成や地域社会の活性化を目指す新
成人式研究会(長谷川栄会長)が主催
今回は全国から57件の応募があり、11
自治体が入賞した。大賞は兵庫県小野
市だった。

新型コロナ関連 生活情報

- ▷田島弥平旧宅・桑場(伊勢崎)
※敷地内の見学は可 31日まで
- ▷清掃リサイクルセンター21(伊勢崎)
施設見学と会議室貸し出し 31日まで
- ▷文化センター(吉岡)研修室、工芸実習室、
視聴覚室、和室 26日まで
- ▷コミュニティセンター(吉岡)
26日まで
- ▷保健センター(吉岡) 26日まで
- ▷社会体育館(吉岡) 26日まで
- ▷明治地区児童屋内体育施設(吉岡)
26日まで
- ▷吉岡中体育館(吉岡) 26日まで
- ※各種情報は変更になる場合があります。

■学童クラブに弁当配送(高崎) 臨時
休校を受け、高崎市(高崎市倉賀野町)
は市内の放課後児童クラブに弁当を配送す
るサービスを始めた。通常500~600円程度
の弁当を200円で販売。希望日の前日正午
まで受け付ける。問い合わせは同社(☎
027・346・2571)へ。

■会館の使用料全額還付(桐生) 桐生
市は12日までに、対象期間における市民文
化会館の使用をキャンセルした場合、納入
済みの使用料を全額還付すると発表した。

対象期間は2月27日~3月31日の使用予
定で、感染状況などによっては今後延長も
検討する。施設の指定管理者である市スポ
ーツ文化事業団が対象者に順次連絡する。
感染症対策として、市はイベントなどの
主催者に対し自粛(延期・中止または規模
縮小)を要請している。

■電解水を無料配布(安中) 除菌作用の
ある製品が品薄になる中、温泉施設で消毒
やろ過設備の修理などを行う「SPAエン
지니어リング」(安中市原市)は12日、同
社で殺菌効果があるとされる水溶液の配布
を行った。13、16日も実施する。
配布されたのは、「強酸性電解水」「強
アルカリ性電解水」と呼ばれる水溶液。今
後は市内の学童クラブや高齢者施設への無
料配布も検討する。

時間は午前10時~午後5時で、容器は持
参する。問い合わせは同社(☎027・335・
6341)へ。

■全世界にマスク配布(草津) 草津町は
12日、町内全世界に備蓄マスク約2万2000
枚の配布を始めた。発表した。

全国的にマスクが品薄となっていること
から配布を決定。対象は町内2174世帯。12
日から町内各地区の区長を通して、1世帯
当たり10枚を配布する。

イベントの中止や延期、ボランティ
ア活動の実施など新型コロナ関連の情報
を、ファクス(027・252・5321)か
メール(houdou@jomo-news.co.jp)
でお寄せください。

施設休館

- 主な施設名(市町村)期間。県、市町村
が臨時休館の情報をホームページに掲載。
▷子供のもり公園伊勢崎まゆドーム
(伊勢崎)※公園は利用可 31日まで
- ▷耕の郷(伊勢崎) 31日まで
 - ▷市民プラザ(伊勢崎) 31日まで
 - ▷青少年育成センター(伊勢崎) 31日まで
 - ▷境赤レンガ倉庫(伊勢崎) 31日まで
 - ▷隣保館(伊勢崎) 31日まで
 - ▷いせさき明治館(伊勢崎) 31日まで
 - ▷田島弥平旧宅案内所(伊勢崎) 31日まで

テレワークの 導入へ相談を

テレワークの利点

- 自然災害時や感染症の流行時も業務を継続できる
- 通勤時間がなくなり、子育てや介護を抱える人も仕事を続けやすい
- 予定外の訪問や打ち合わせがなくなり、生産性が高まる
- 多様な働き方が可能で、優秀な人材を確保できる



※「テレワーク相談センター」ホームページより

新型コロナウイルスの感
染リスクを減らすと、会
社に出勤せず自宅などで働
くテレワークの導入が広が
っている。とはいえ、白紙
の状態から導入するには何
から始めたらいいのか。ま
ず大事なのは経営者の決断

者の決断が大事

度と、意外に安価なものが
多い。政府の助成金もあり、
まずは専門窓口などに相談
してほしいと呼び掛ける。

テレワークには自然災害
や感染症流行時の備えに加
え、通勤時間をなくすこと
で子育てや介護を抱えてい
る従業員も仕事を続けやす
くなるという利点がある。
落ち着いた環境で仕事
に集中でき、生産性が上が

よつ現場を抱え
る仕事でも、資料
作りなど家ででき
る部分はある。と
話す。中小企業に
は自宅勤務に必要
なソフトウェアな
どの導入費用も心
配だが「社員1人
当たり月額数百円程
で、意外に安価なものが
多い。政府の助成金もあり、
まずは専門窓口などに相談
してほしいと呼び掛ける。

相談・受診の日安

- 相談の前に**
- 発熱や風邪の症状→学校、会社を休んで外出を控える
 - 毎日、体温を記録
- 相談センターに相談**
- 「風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上」または「強いだるさや息苦しさ」がある人
 - 重症化しやすい人(症状が2日程度で)
 - 高齢者
 - 糖尿病、心不全、呼吸器疾患の持病のある人、透析患者
 - 免疫抑制剤や抗がん剤の使用
 - 妊婦
 - 念のため早めに
 - 小児
 - 重症化しやすいとの報告なし
- 相談センターから薦められた医療機関を受診

夜間・土日祝日

- 県保健予防課 027-223-1111
- 前橋市保健所 027-224-1111
- 高崎市保健所(平日は21時~) 027-381-6123

- 富岡保健福祉事務所** 0274-62-1541
- 吾妻保健福祉事務所** 0279-75-3303
- 利根沼田保健福祉事務所** 0278-23-2185
- 太田保健福祉事務所** 0276-31-8243
- 桐生保健福祉事務所** 0277-53-4131
- 館林保健福祉事務所** 0276-72-3230

大自然の息吹 切り取る



フォトクラブ彩作品展

高崎 県内の写真愛好家で
つくる「フォトクラブ
彩」(真下健次会長)の作品
展が13日、高崎市の高崎シテイ
ギャラリーで始まった。写真
県内外で撮影した美しい大自然
の風景写真30点が並んでいる。
18日まで。
同クラブは上毛新聞社が主催
した写真教室の受講者有志が立
ち上げ、現在は会員5人が出張
撮影や移動して加え、鮮やかな風景を副会
同市棟一端をもらえ
ている。

災害被災

沼田市とスーパ
ーのフレッセイ
(前橋市力丸町、
植木成行社長)は11日、
災害時における物資の供
給協力について協定を結
んだ。写真。地震や風水
害などの災害が発生した
場合に、被災者支援のた
め相互に協力し、迅速かつ
円滑に支援を行う。
災害時に市の要請を受
けて、同社が食料品や衣
料品、災害時の応急対策
に必要な物資を供給す
る。市役所で行った調印式
で、植木社長は「愛顧し
てくださる地元の方々に
に恩返しができることを
うれしく思う」とあいさ
つ。横山公一市長も「物
資の供給によって市民も
安心して暮らせる」と感
謝した。

建築物省エネ法が
改正されました

トラクター 田植機
農機具現金